

血液内科 研修で経験が望ましい項目 (minimum requirement)

	基本的手技	日付	回数
A	末梢血白血球分画をカウントする		
A	指導医とともに骨髄穿刺を行う		
A	指導医の指導の下で骨髄像をカウントする		
B	骨髄生検を見学し、介助する		
A	末梢静脈の確保を行う		
A	指導医とともに化学療法のメニューを組み立てる		
A	指導医とともに中心静脈の確保を行う		
	基本的疾患の診療		
A	造血器腫瘍患者を担当する		
A	その他の血液疾患患者を担当する		
B	自家造血幹細胞移植患者を担当する		
C	同種造血幹細胞移植患者を担当する		
	具体的な診療		
A	入院時の病歴をとる		
A	身体診察を行い、所見を記載する		
A	ICに立ち合い、診療録に記載する		
A	必要な血液検査をオーダーする		
A	必要な画像検査をオーダーする		
A	他科への診療依頼を記載する		
A	血液経過表を作成する		
A	検討会でプレゼンテーションする		
A	回診でプレゼンテーションする		

A 4週で経験することが望ましい

B 8週で経験することが望ましい

C 12週で経験することが望ましい